

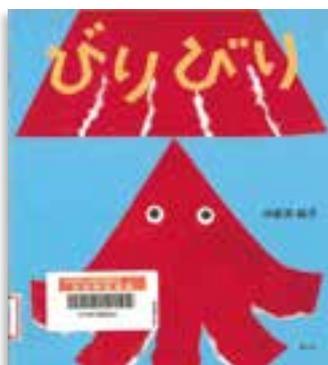


開館カレンダーはこちら

びりびり

作：中新井 純子

さんかくのあかいかみを、びりびりとやぶってみたら？オレンジいろのかみをやぶったら…。ページをめくって、親子でにっこりできる絵本。



問 簡野道明記念吉田町図書館
☎52-3169



5分で読書

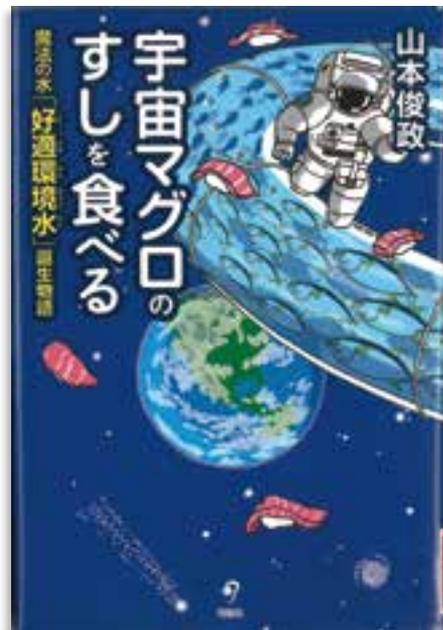
著：秦本 幸弥

学校の中にある何気ないもの。その本当の意味が分かったとき、あなたの世界は一変する！

問 中央図書館 津島分館
☎32-2725

宇宙マグロのすしを食べる

著：山本 俊政



淡水と海水とも異なる第3の「魔法の水」を作り出した筆者が、基礎研究も含めておよそ20年、どんなことに取り組んできたかを綴る。

問 中央図書館(パフィオうわじま内)
☎22-1065

かなな句会

渋柿宇和島支部

草の実

木賊句会

つしま短歌会

一水のまつ平なる初紅葉
赤とんぼとまりし君の帽子かな
朝霧に包圍されたる山の黙
沙羅の花水音風音ころころと

期することありや一途に秋遍路
身に入むや杖を忘れて橋渡る
挨拶は残暑を言へり電話口
札所寺歴史をつむぐ大銀杏
馴初めは松茸狩よひよんな縁
朝顔の産声確と午前四時

一日終へちちろと闇を同じうす
鬼の城とふ山頂へ稲光
蛸のこゑに濡れたる天地かな
柿熟れて身の中程の島の径
芋の葉のくるりと風を去なしけり

港町競り声聞こゆ晩夏かな
佛恩を謝す歌声や爽やかに
曼珠沙華ひとと早く咲きにけり
夕焼雲刻々移る万華鏡
風立ちぬ男夕餉の冷奴
朝の画廊枝移りつつ小鳥来る

「十三夜の月はいいね」と夫のいう増穂川辺
にたたずみ見上ぐ
早苗饗と聞くもなつかし草餅の里より届き亡
き父母偲ぶ
川の流れ山の移ろひを眺めつつ此の町に住み
やすらぎ覚ゆ
「エクアドル」とは何処の國ぞ四つ切りの
南瓜掌にのせ地球儀まはす

文芸のひろば

川崎 敬子
片桐八重子
岡田千恵子
福島 厚子

赤松 彌介
財前 湊子
林 妙子
若山東望榮
小島 和子
中平 豊念

細川 英子
松澤 正仁
宮崎さくを
森田 たみ
薬師寺彦介

西川 洋子
三浦 尚子
松影 美鈴
金田八重子
松影 秋声
櫻井 健

清家 幸子
西崎美紀子
中村 美鈴
首藤 千晶
増穂川 辺

